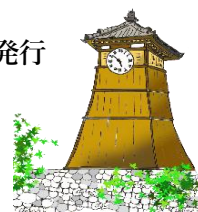


出石中学校区 小中一貫教育だより

令和8年7月15日発行

第25号



出石中学校区小中一貫教育について



豊岡市では、平成19年度より豊岡市教育行動計画に小中連携教育を位置づけ、当時重大な教育課題であった「中1ギャップ」に総称される問題の改善に取り組んできました。

小中連携教育を進める中で、それまでの教育の成果と課題を総括し、その後重点的に取り組む教育課題を「不登校問題」「学力の二極化を中心にした学力問題」「特別な支援が必要な子どもたちへの教育的ニーズに対応する問題」の3つに絞り込みました。この課題改善のために必要な取組として、各中学校区における「小中一貫教育」を推進しています。

令和8年度出石中学校区教育のめざす姿

【めざす子ども像】 「自立した生徒」

【具体的な姿】

- ・ 自ら進んで行動する子
- ・ ねばり強く取り組む子
- ・ 誰とでも助け合える子
- ・ ふるさとを愛する子

アプローチ&スタートカリキュラム『中1生徒アンケート』結果

豊岡市では中1ギャップ（小学校から中学校への進学時における環境の変化による不適応や不安）の解消を図り、授業改善及び不登校の未然防止等のために、小学6年生と中学1年生に対して「学校生活に対する意識調査」を行っています。6月には出石中1年生対象にアンケートを実施し、特徴的な回答結果はつぎのとおりです。（太字%が今回の集計値）

■ 今、中学校での生活は楽しい／どちらかといえば楽しい **96.8%**

■ 1学期の生活でおどろいたり、とまどったり、困ったりしたこと

（小学6年生時に「中学校進学で不安・心配なこと」と答えていた割合からの変化）

- | | | | | |
|--------------------------------|-------|-------|---|--------------|
| ① 新しい学級になること（新しい友達、担任の先生など） | | 42.5% | ⇒ | 18.0% |
| ② 友達との人間関係 | | 58.9% | ⇒ | 24.6% |
| ③ 毎日の課題（宿題の多さ、難しさなど） | | 52.1% | ⇒ | 26.2% |
| ④ 授業（スピードの速さ、内容の難しさ、ついていけるかなど） | .. | 65.8% | ⇒ | 36.1% |
| ⑤ テストや成績（難しさや得点など） | | 67.1% | ⇒ | 45.9% |
| ⑥ 特にない | | 9.6% | ⇒ | 26.2% |

多くの質問において、中学校進学前に感じていた「不安・心配」が、中学校入学後に解消傾向にあることがわかります。各小中学校での丁寧な対応を継続させることはもちろんのこと、引き続き出石中学校区小中一貫教育の充実を図り、さまざまな課題の解消に向けて取り組みます。

家庭学習のすすめ（学習部会）

出石中校区小中一貫教育の学習部会では、「家庭学習のすすめ」を出石町PTA連絡協議会、出石町青少年健全育成推進会議と連携して発行しています。授業で学んだことを復習することで、理解が深まり、忘れにくくなったり、毎日少しずつ家庭学習を続けることで、自分から机に向かう習慣が身についたりします。このように、家庭学習は、学校で学んだことを確かな力にするための大切な時間です。毎日少しずつ続けることで、学習習慣や考える力が身につき、自信をもって学び続ける力を育てます。お子さんの頑張りを認め、励ましながら見守ることが、学習意欲の向上につながります。すぐに目のつく場所に掲示していただき、普段から意識して取り組めるようにご協力をお願いします。



生活部会の活動について

今年度も生活部会では、児童生徒のより良い生活習慣づくりを目指し、「睡眠調査」と「メディアコントロール」に取り組めます。小学校と中学校では発達段階や生活の実態が異なることから、今年度は小学校で「睡眠調査」、中学校で「メディアコントロール」を中心に実施します。

小学校では、睡眠調査を通して自分の生活リズムを振り返り、早寝・早起きや十分な睡眠時間の確保など、生活習慣を整えようとする意識を育てます。

一方、中学校では、スマートフォンやタブレットなどの電子機器を、学習や調べ学習にも活用する機会が増えています。そのため、単に利用時間を減らすことを目的とするのではなく、自分にとって適切な利用時間や使い方を考え、主体的にメディアと付き合う力を育てることを目指します。

なお、出石中学校区小中一貫教育生活部会として睡眠調査は2学期と3学期にそれぞれ1回、メディアコントロールは長期休業明けを中心に年2回実施します。これらの取組を通して、児童生徒一人一人が自分の生活を見つめ直し、より良い生活リズムを身に付けるきっかけとなることを願っています。



人権教育研修会（6/24 福住小学校）～人権教育部会～



出石中学校区の小中学校では、「正しい人権意識と人権感覚を身につけた児童生徒の育成」、「同和問題等、許してはいけない人権に関わる課題の解決に向けた意欲と態度の育成」を目標に、人権教育に取り組んでいます。6月24日には福住小学校にて、絵本『わたしは あかねこ』を用いた授業を行い、「互いの違いを認め、相手を受け入れるための行動」について考えました。その後の事後研修では、「主発問がねらいにせまっているか」「自分事として考えさせることで、

人権尊重の実践力の育成につながったか」を柱に、熱心な討議が行われました。今後も人権教育のさらなる充実をめざし、研究と実践を積み重ねていきます。

